



下部消化管内視鏡（大腸カメラ）の注意事項

下部消化管内視鏡（大腸カメラ）の注意事項		
事前検査		・検査を安全に行うために、抗凝固剤内服の有無の確認や全身状態の診断と感染症有無のため採血や心電図検査などを行う場合があります。
/	検査3日前	・3日前から消化の悪いものや繊維の多いものは避けてください。 例 海藻類 （わかめ 昆布 もずくなど） きのこ類 （しいたけ えのき しめじ エリンギなど） 繊維の多い野菜（ふき ゴボウ 人参 もやし ピーマン レンコン 竹の子 ねぎ系など） 種のある果物 （キウイ すいか メロン ブドウ イチゴなど） その他 （ごま ピーナッツ こんにゃくなど）
		☐ 就寝前に下剤[センノシド錠]をコップ一杯[200ml]以上の水で飲んでください。
/	検査2日前	☐ 就寝前に下剤[センノシド錠]をコップ一杯[200ml]以上の水で飲んでください。
/	検査前日	・アルコール類、牛乳などの乳製品、繊維飲料水、果肉入り飲料水などは、摂取しないでください。
		・お茶やウーロン茶、麦茶、コーヒー、紅茶、スポーツドリンクなどの水分摂取は、就寝前まで可能です。PM8時以降の食事は禁止です。
		☐ エニマクリンという大腸検査食のみを朝食-昼食-間食-夕食と食べてもらいます。
		☐ エニマクリンを使用しない場合
		・大腸検査食を使わない場合は、おかゆ、具のないうどん、スープなどの消化の良い食事をして、PM8時以降の食事は禁止です。（消化に悪いもの検査3日前参照）
☐ 就寝前に水薬性下剤[ピコスルファートナトリウム液]1本をコップ一杯[200ml]以上の水に入れて飲んでください。		
/	検査当日	・検査まで絶対に食事はしないでください。
		・水やスポーツドリンク・お茶・ウーロン茶・麦茶、紅茶などの水分摂取は可能です。
		☐ ニフレックの飲み方
		・ニフレックをまず1Lの水でよく溶解した後に、もう1Lの水を増量溶解しトータル2Lにしてください。
		・検査5時間前（AM8:00ごろ）からニフレックを1時間1Lの割合で飲み始めてください。
		・1L飲んで排便を確認したら、もう1Lを1時間かけて飲んでください。
		・1L飲んでも排便が確認できない場合は、排便するまでもう1L飲むのは待ってください。
・ 気持ち悪くなったり、腹痛を生じた場合は中止して当院担当医までご連絡ください。		
・ 検査当日の車・バイク・自転車での来院は、絶対にご遠慮ください。		
・ 検査時間（ : ）の15～30分前までに来院してください。		
検査後		・30分から1時間ほど当院にて経過をみてもらいます。
		・ポリープ切除などをした場合は、食事制限や長距離の移動などの制限をしてもらう場合がありますので検査日から7日程、飲み会や旅行、出張などのご予定を入れないようお願いいたします。ポリープ切除した場合は、 裏面の切除後の注意事項 をお読みください。
		・異常が認められなかった場合は、検査当日の運転などは禁止とし、検査後の食事制限などはありません。
		・組織を採取した場合は、当日の車の運転や2～3日ほどのアルコール類や刺激物の摂取は禁止としてください。
		組織検査した場合は、結果まで10日ほどかかりまので後日に再診察をしてください。



下部消化管内視鏡（大腸カメラ）手順

前処置	来院時	・来院後検査着に着替えてもらいます。（着替えやすい服装で来院しましょう） ・点滴をしてもらいます。
	5 分前	・腸の動きを止める鎮痙剤の注射します。 （禁忌：前立腺肥大・緑内障・心疾患・甲状腺機能亢進症） ・左向きに寝てもらい、肛門部をキシロカインゼリーで5分ほど浸潤麻酔します。 ・鎮静剤使用の場合は、ドルミカムとペンチジンを併用静脈注射します。
検査		・何も異常がなければ、15分ほどで検査は終了します。 ・ポリープなどを切除する場合は、ポリープの数にもよりますが30分以上かかる場合があります。

ポリープ切除後の注意事項

	検査後当日	1日～2日目	3日～6日目	7日目～
食事	・十分な水分を摂取をしましょう	・便秘にならないように水分を多めに摂取して下さい		
	・炭酸飲料は控えましょう ・うどん、おかゆ、すーぷ、豆腐など消化の良い食事を摂取してください ・熱いものや極端に冷たい食事は控えてください ・消化の悪い食事（海藻類、キノコ類、線維の多い野菜など）は控えましょう ・香辛料やトウガラシなど刺激物が含まれる食事は控えてください			通常の食事
飲酒 たばこ	・禁止です。（出血の原因になる場合があります）			制限なし
入浴	・入浴・シャワー禁止です	・シャワーのみ	・ぬるま湯で入浴可 ・長湯は控えましょう	制限なし
生活	・できるだけ安静にしてください	・腹圧をかけない通常の生活可		制限なし
	・重い荷物を持つなど腹圧のかかる動作は控えてください ・自転車やバイクなどは乗らないでください ・排便時は力まないようにしましょう			
	・腹痛や下血、発熱などが生じた場合は、下記の電話番号まで至急に連絡してください TEL _____			
車の運転	・禁止です	・なるべく控えてください ・長距離は禁止です		制限なし
運動	・禁止です	・散歩程度 ・長距離の歩行は控えてください		激しい運動は 禁止
仕事	・禁止です	・デスクワークや軽作業は可能 ・腹圧のかかる仕事は禁止です		制限なし
移動	・海外や登山、離島などの旅行や飛行機での移動は1週間ほど避けて下さい。			
内服	・検査後、許可された内服のみ服用してください。 ・抗凝固・抗血小板剤（ ）は、 月 日より開始してください。			